

# 遠慶

おんきょう



寺院めぐり 新潟組 真行寺  
「子どもの報恩講」の様子

新潟教区報 第112号

2015(平成27)年11月30日発行

## 新潟組 真行寺

寛永九年(一六三二) 快樂庵釈乘周により開基。

天保八年(一八三七) 第八世住職明証庵深奥の記した  
現存の覚え書きによれば、「是より以前は天明七年寅年五  
月の大火の際、過去帳始不残焼失依不知」と記されている。

移転前は枉谷小路にあり新潟奉行所と垣一重を隔てて  
相隣していたため、奉行の書を多く蔵していたが、明治  
十三年(一八八〇)、同四十一年(一九〇八)の火災にあり、  
現在は川村奉行の書二・三を蔵するに過ぎない。

また、昭和三十年の新潟大火、同三十九年の新潟地震  
で被害を受け、昭和四十五年西堀の地より現在地に移転、  
今日に至っている。

毎月の常例法話をはじめ、教化事業として、宗教法人  
青山真行保育園の設置運営を行うとともに、境内地に社  
会福祉法人真行保育園も隣接しており、子ども達を中心  
とした活動を多く行っている。

住所 〒九五〇二〇一四 新潟市西区小針西二一〇一五

寺院めぐりのコーナでは、教区内の各ご寺院のご紹介をさせて  
いただきます。ご寺院の沿革や由緒、力を入れて取り組んでいる  
事などを教えてください。ご協力、よろしく願います。

2016(平成28)年5月11日(水)

第25代 専如門主  
新潟教区ご巡回並びに  
本願寺新潟別院ご巡拝

編集/浄土真宗本願寺派

「御同朋の社会をめざす運動」新潟教区委員会 広報部会

発行者/新潟教区教務所長 野村宗雄

〒940-2402

新潟県長岡市与板町与板乙4356本願寺新潟別院内

Tel: 0258-72-2120 Fax: 0258-72-2536

## 仙台別院納涼夏祭り支援活動に参加して

平成二十七年八月五日(水)～六日(木)

与板組常禅寺 釈清静 小林 幸治

8月5日、真夏の昼過ぎ8名が2台の自家用車にて新潟別院を後に出発しました。目的は仙台七夕祭り前夜祭に合わせ、大震災で生活環境や心に深い傷を抱えている方々に、心安らぐひとときにと仙台別院にて花火観覧や飲み物・食事の提供を手伝う支援活動でした。我々の担当はB級グルメグランプリ実績のある浪江焼きそば作りで、教務所長を含めたご住職の方々やベテランの仲間と共に鉄板焼きそばに挑戦しました。多くの門徒同志や住職と酒を酌み交わしながらの盛り上がりや、子どもたちのはしゃぐ姿を横目に見ながら、馴れない炭火の熱い鉄板焼きそば作りでしたが、私自身もなぜか清々しい気持ちを経験する事も出来ました。

翌日は大震災津波により多くの犠牲者と住宅や仕事場を失う等、壊滅的な被害を受けた仙台若林地区を訪問し「若林ボランティアハウス」広瀬代表と学生の皆様から説明と現地案内を受けました。学生を中心として出来た組織で復旧・復興・地域起し・今では被災農家の中長期支援活動が主体で、荒れて放棄された農地を借用し耕作出来る環境作りに努め、農家の再開や戻ってくるか迷っている人の後押し支援を実行しており、私は彼らの献身的な取り組みと情熱に大きな感銘を受けました。二日間を通して人と人との絆・支援の在り方・門徒の在り方など反省の多い自分を見つめ直す良い機会をいただいた事と、ご一緒されたお世話になった皆様に感謝致します。



浪江焼きそば作り



若林ボランティアハウスにて

## どんとこいフェスタを通して

平成二十七年十月二十四日(土)

与板組 明元寺 中院 法榮

去る十月二十四日、本願寺新潟別院に於いて、どんとこいフェスタが催されました。

本堂内では若手布教使の田子祐子さん・洪野明子さんより『ほとけさまのお話〜みんなほとけさまに願われている〜』と題しまして、やさしく、わかりやすいお話をいただきました。

その後、ふくい舞さんによるライブイベントがあり、代表曲で日本有線大賞新人賞受賞曲の「アイのうた」、同じく日本有線大賞受賞「いくたびの櫻」などを始め、多くの曲を熱唱されました。最後にはアンコールもあり、会場は大いに盛り上がりました。

本堂前の境内地では、焼き鳥や焼きそばなどの露店を出店しました。

ご参加の方々からは、「とてもいい企画だった」との声を聞かせていただきました。

しかし、いい企画であっただけに、悪天候等もありましたが、より多数の方々に来ていただけた事は広報不足であったと残念に思いました。

今回のイベントを通して、もっとお寺をアピールするための告知の方法や子どもたちがお寺に来てもらえる内容を考えて参画していかなければ、

イベント全体を通して感じていただき

ました。



ほとけさまのお話



LIVE終了後のサイン会

## 新潟教区活動報告(2015年8月後半～2015年11月前半)

<b>8月</b>	
10日(月)～11日(火)	新潟教区少年連盟サマースクール(子ども33名・大人23名参加) 本願寺新潟別院にて、ウォークラリー・夜のつどい・工作体験など1泊2日の子ども会が行われました。
30日(日)	得度習礼講習会(2名参加) 得度習礼に向けての心得と、必要な勤行・作法・衣体の畳み方などの講習会が行われました。
<b>9月</b>	
1日(火)～2日(水)	全国門徒総代会第1連区大会『寺院における門徒総代活動の活性化とその課題』(東北教区担当・教区内参加者4名) 講師：艸香 雄道 氏(本願寺派布教使・東京教区群馬組 西蓮寺) 本願寺仙台別院にて「伝灯奉告法要についてのご消息」等から、総代としての姿を示す事の必要性についてのお話をいただきました。
8日(火)～9日(水)	第1連区布教使研修会「自信教人信」～言葉と差別～(東北教区担当・教区内参加者5名) 講師：宮本 義宣 氏(本願寺派布教使・東京教区神奈川組 高願寺) 本願寺仙台別院にて、布教伝道活動における課題として「言葉と差別」についての学びを深めました。
14日(月)	過去帳又はこれに類する帳簿の管理や取り扱いに関する研修会『「過去帳」の管理に関する責任と課題について～「過去帳取扱基準」及び新「差別事件糾明のための方途学習会用冊子」に学ぶ～』(29名参加) 講師：嶋津 弘隆 氏(同和教育振興会評議員・福井教区足羽組弘誓寺) 現在作成されている教材及び新冊子が、まだ完成された内容のものではなく、更に研修を重ねていくことにより新たな対応策が発見できる。研修を継続していくことの重要性を確認しました。
17日(木)	第17回平和を願うつどい「戦後70年を迎えて-新たな戦争に向かわないために-」(高岡教区主催) 講師：武田 達城 氏(同和教育振興会常務理事) 築地本願寺伝道会館にて、本願寺教団が戦時中に積極的に戦争に協力していった経緯や歴史的事実について、講師よりの具体的な事例(父親の文書伝道)の提示により、深く学ぶことができました。 へいわフォーラム2015『古賀茂明が平和を語る@築地本願寺』(東京教区主催) 講師：古賀 茂明 氏(元経済産業省官僚/フォーラム4提唱者) 築地本願寺にて、宗教者がもっと積極的に政治に関わっていくことの必要性や、対話こそが真の平和実現への方策であることについて、大変興味深く学ぶことができました。
18日(金)	第35回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要(教区内参拝者8名)
<b>10月</b>	
4日(日)	寺院仏壮結成に向けた研修会『仏教壮年会活動を通してできること』～仏教壮年会の魅力とは～(14名参加) 講師：眞谷 誠祐 氏(新潟組 林徳寺) 結成について、「どうしてもいかわからない・結成しても活動を継続していくことが非常に困難である」などの意見があり、それについてご講師より「住職と門信徒の意欲・熱意が非常に大切であり、組織がある利点や魅力をいかにして伝えていくかを、先ず話し合っていくことが必要」とのお話がありました。
9日(金)	常例法座(15名参拝) 講師：松岡 満優 氏(本願寺派布教使・東京教区群馬組 蓮照寺)
19日(月)～20日(火)	門徒総代研修会『お念仏の心を次世代に伝えよう』(85名参加) 講師：橋本 正信 氏(東京教区鎌倉組 来恩寺) 湯田上温泉ホテル小柳にて、ご講師より海外及び首都圏開教の経験や、現在の活動の取り組みについてお話しいただき、参加者全員でテーマに沿った班別話し合いが行われました。
23日(金)～24日(土)	謝恩講法要(120名参拝) 講師：23日 田子 祐子 氏(本願寺派布教使・巻組 一心寺) ：24日 洪野 明子 氏(本願寺派布教使・新潟組 金照寺)
24日(土)～25日(日)	第1ブロック仏青研修会併催・本願寺新潟別院どんとこいフェスタ(70～80名参加) 講師：田子 祐子 氏(本願寺派布教使・巻組 一心寺) ：洪野 明子 氏(本願寺派布教使・新潟組 金照寺) ふくい 舞 氏(歌手) 第1ブロック仏青研修会との共催でどんとこいフェスタが行われました。詳細は2ページをご覧ください。
<b>11月</b>	
4日(水)	教区保育連盟研修会『まことの保育と浄土真宗のみ教え』(20名参加・補任式受式者7名) 講師：松岡 満優 氏(本願寺派布教使・東京教区群馬組 蓮照寺) 新任者補任式が行われ、記念念珠と補任状の授与が行われました。研修はご講師より問題提起の後、話し合い・まとめの法話があり、浄土真宗のみ教え・まことの保育者としてのあり方について学びを深めました。
8日(日)～9日(月)	3教区門徒推進員連絡協議会実践運動研修会「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)の取組みから、門徒推進員に求められるもの」(30名参加) 講師：雲林 重正 氏(本願寺派布教使・与板組 浄秀寺) 蓬平温泉和泉屋にて長野教区・国府教区・新潟教区の門徒推進員により、これからのお寺のあり方や方向性について熱心に話し合いが行われ、次回2年後に長野教区での開催を確認しました。
9日(月)	常例法座(45名参拝)※新潟組寺院女性会36名参拝 講師：長井 順一 氏(本願寺派布教使・国府教区米山組 浄善寺)
9日(月)～10日(火)	東北ボランティア活動(北海道教区との合同・教区内参加者4名) 北海道教区との合同での活動で、福島・岩手の仮設住宅での新潟米の炊き出しは好評を得て、現地の参加者やスタッフより感謝の言葉をいただきました。また、活動を通じて交流も深める事ができました。

「浄土真宗のご利益」

ここでは浄土真宗のご利益とは何かを考えたいと思います。

阿弥陀さまは光（光明）となつて私を救ってくださいます。その光は月や太陽よりもはるかに強いため、「超日月光」と「正信偈」に説かれています。

また、阿弥陀さまは声（名号）となつて私を救ってくださいます。声の仏さまとして、十方世界をこえて響き渡っています。「南無阿弥陀仏」と、「私にまかせよ」と呼んでくださっています。それは「重誓偈」に「名声超十方」と、名の声は十方世界をこえて響き渡っていると述べられています。

いつでも、どこでも、迷っている私、悩みの多い私を、阿弥陀さまは見守つて救ってくださいます。「今ここにいる私」を阿弥陀さまは捨てることなくつかみとつて、お浄土へ導いてくださるのです。

寺お講（法中講）で一番最後に拝読される御消息に「光明摂取の大意（だいやく）」と言う言葉が出てまいります。私たちはこの御言葉は何回となく聴聞させていただいております。大きいご利益だから「大意」と言われます。

阿弥陀さまがいつでも、どこでも、この私を救ってくださいます、これが浄土真宗のご利益です。

法話のコーナーでは、新潟教区内の本願派布教使の方々に原稿を依頼しております。

○今後の予定(3月まで) ご関係の皆様、多くのご参拝・ご参加をお待ちしております。

・連区青年布教使研修会(新潟教区担当)

日時 平成27年12月9日(水)・10日(木)

会場 新潟教区長岡組 長永寺

テーマ 『自信教人信』(現代と浄土真宗)

講師 西原 祐治氏(本願寺派布教使・東京教区)

※10の日布教実演は一般参加可能です。気軽に聴聞ください。

・第18回平和を誓う念仏者の集い

日時 平成27年12月13日(日) 13時30分より

会場 本願寺新潟別院

テーマ 「非戦の誓いを新たに」(戦後70年の今、戦争を知り考える)

講師 志葉 玲 氏(フリージャーナリスト)

・教区仏青連盟「教区の集い」(三条組・長念寺仏教青年会冬の集い)

日時 平成27年12月27日(木) 16時30分より

会場 三条組・長念寺

講師 松月 博宣 氏(本願寺派布教使・福岡教区)

・本願寺新潟別院「除夜会」(元旦会)

日時 除夜会 平成27年12月31日(木) 23時より

元旦会 平成28年1月1日(金) 7時より

会場 本願寺新潟別院

・連研履修者研修会

日時 平成28年2月14日(日)

会場 三条ロイヤルホテル

テーマ 「み教えからの気づき」

講師 井上 慶真 氏(連研中央講師・長野教区)

・得度習礼講習会

日時 平成27年3月6日(日)

会場 本願寺新潟別院

・同朋運動推進研修会

日時 平成28年3月17日(木)

会場 新潟県立人間と環境のふれあい館

テーマ 「新潟水保病公式確認50年に学ぶ」

講師 塚田 真弘 氏(新潟県立人間と環境のふれあい館館長)



ラジオ法話

新潟教区布教団による ラジオ法話

FMながあか 80.7

毎週月曜(金曜) 16時15分より放送中です。

(放送地域は、長岡市全域、小千谷市、小国、川口、

山古志、出雲崎、寺泊、和島、与板、見附、中之島、板尾)

身元調査 しない させない 許さない